

M-13 寺地山(1,996m)

【山行日】 2021年10月9日(土)～10日(日) 【CL】 3008

【参加者】 1935、2623、2932、3068、3146、3155、3241、3304、3335、3405、3481、3507、3533、3668
3718

【コースタイム】 9日 山の上キャンプ場駐車場 11:10…13:25 天蓋山頂上…15:45 山の上
駐車場…16:00 猟師の宿 10日 宿 6:30⇒7:10 飛越トンネル駐車場…9:30 神岡新道分岐
…鏡池平…10:40 寺地山 10:45…神岡新道分岐 12:25…飛越トンネル登山口

前日は天蓋山に登山し、猟師の家という民宿に一泊しました。築数年の新しい清潔な宿で、ジビエ料理や盛りだくさんの家庭料理で温かくもてなしていただきました。

明朝、まだ暗い宿の周囲はすっかり朝靄に覆われ、山裾に沿って白い霧が流れ、まさに天空の里です。さて登山口に向かい登山開始です。開始直後から急登や緩やかな下り又登りを繰り返し少し平坦な送電線下のくぼ地にたどり着きます。まだまだこれからと息を切らして後ろを振り返ると、葉を落としたダケカンバの白い木肌が朝日に映えキラキラしています、ところどころには真っ赤なウルシやカエデの紅葉、左手にはどっしりした大きな山(後ほど薬師岳と判明)も見え隠れしています。ようやく神岡新道分岐に至ります。その後しばらく行くと草紅葉がきれいな平坦地に到着、鏡池は水たまり程度に痩せ、湿地は草原となり、草紅葉が心を和ませてくれました。



しばらくすると寺地山の山頂、少し先に足を運ぶとびっくりする絶景が待っていました。紅葉する木の葉の奥には小さく大日岳、劔岳そして、どっしり流れるような曲線を描く薬師岳、その前には行く手を阻むように北ノ股岳がどっかり座っています。その右には赤木岳、黒部五郎岳、笠ヶ岳、乗鞍岳そして御嶽などなどの稜線が雲一つない美しい青空を背に見渡せます。

心置きなく北アルプスの山々を眺めながら、猟師の宿の特大大おにぎりやベーグルをゆっくりと美味しく頂きました。長い登りやハアハア息を切らした急登をすっかり忘れ、この美しい絶景のみを心に刻みました。一緒に汗を流した仲間たち全員でCL、SLへの感謝の気持を胸に、元気に帰途につきました。(3155)